

●明治二十二年七月二十三日勅令第百號

朕艦隊條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

艦隊條例

第一條 艦隊ハ軍艦三艘以上ヲ以テ編制ス

第二條 艦隊ハ常置シ又ハ臨時編制ス

艦隊ノ名稱ハ編制ノ目的又ハ差遣スル所ノ海洋若クハ地方ノ名ヲ冠シ某艦隊ト稱ス

第三條 艦隊ニ司令長官ヲ置キ其勢力ニ應シ大將中將若クハ少將ヲ以テ之ニ補ス

第四條 大將若クハ中將ノ司令スル艦隊艦數多キトキハ其下ニ司令官ヲ置キ少將若クハ

大佐ヲ以テ之ニ補スルコトアリ

第五條 艦隊司令長官司令官ノ幕僚トシテ左ノ職員ヲ置ク

參 謀 長 參

謀

司令長官
司令官
傳令使
秘

書

大將司令長官 <small>タルトキノ幕僚</small>	少將若クハ大佐	一	少佐	一	大尉	一	主計少監	一
中將司令長官 <small>タルトキノ幕僚</small>	少佐	一	大尉	一	大尉	一	大主計	一
少將司令長官 <small>タルトキノ幕僚</small>	少佐若クハ大尉	一	大尉	一	大尉	一	大主計	一
司令官ノ幕僚	大尉	一	大尉	一	大尉	一	大主計	一

艦隊外國ニ航スルトキ時宜ニ依リ譯官トシテ奏任官又ハ判任官ヲ幕僚ニ附屬セシムルコトヲ得

第六條 艦隊司令長官ハ

天皇ニ直隸シ麾下ノ軍艦ヲ統率シ軍事ヲ統理シ海軍大臣ノ命ヲ受ケ所管ノ軍政ヲ總理ス

第七條 艦隊司令長官ハ麾下ノ軍艦ヲ檢閲シ其成績ハ海軍大臣ヲ經テ

奏上ス可シ

第八條 艦隊司令長官ハ沿海ノ地方長官ヨリ地方ノ靜謐ヲ維持スル爲メ兵力ヲ請求スル

トキ事急ナレハ直ニ之ニ應シテ後海軍大臣ニ報告ス可シ若シ其事急激危險ニシテ地方長官ヨリ請求ノ暇ナキトキハ便宜事ニ從フコトヲ得

第九條 艦隊司令長官ハ麾下ノ軍艦ヲ分遣スルトキハ部下司令官若クハ先任艦長ヲシテ其指揮ヲ掌トラシメ其職權内ノ事ヲ委任スルコトヲ得

第十條 艦隊司令長官ハ部下職員事故アルトキ他ノ職員ヲシテ代理セシムルコトヲ得

第十一條 艦隊司令官ハ司令長官麾下ノ軍艦ヲ分轄シ之ヲ訓練シ軍備ヲ整頓ス

第十二條 艦隊司令長官司令官ハ部下ノ一艦ニ其旗章ヲ掲ク之ヲ旗艦ト稱ス

第十三條 艦隊司令長官司令官ハ旗艦ノ艦長機關長軍醫長主計長ヲシテ其職務ニ參與セシムルコトヲ得

第十四條 參謀長ハ司令長官ノ職務ヲ輔佐シ其職務ニ參シ參謀傳令使秘書ヲ指揮監督シ艦隊一般ニ係ル事ヲ整理ス

第十五條 參謀長アラサル艦隊ノ參謀ハ司令長官司令官ノ職務ニ參シ傳令使秘書ヲ指揮監督シ軍事ニ係ル諸件ヲ整理ス

第十六條 參謀長アル艦隊ノ參謀ハ參謀長ノ命ヲ受ケ軍事ニ係ル諸件ヲ分擔ス

第十七條 司令長官司令官傳令使ハ常ニ司令長官司令官ニ隨從シ命令傳達及信號施行ヲ掌トリ臨時司令長官司令官若クハ參謀長ノ命ヲ受ケ參謀又ハ秘書ノ事務ヲ助ク

第十八條 秘書ハ艦隊ノ庶務ヲ整理ス